



第 38 号 (年4回発行) 編集発行 弘前学院大学 弘前報 印刷所 (有)小野印刷所

伸ばし過ぎずに

学長 吉岡 利忠



先日開催された卒業式における祝辞の一部を記載します。

総勢一八七名の諸君が弘前学院大学から卒業・修了して行きました。今日は、社会情勢、経済情勢とも大変厳しいものがあり、就職に関しては私どもの大学のみならず、多くの大学で頭を悩ましてい

るところであります。大学で開催される3学部を対象にした就職セミナーも恒例の行事になりました。このセミナーには首都圏および北東北3県から多くの会社、企業、医療施設などが参加しております。その甲斐もあり現在の就職率は全体で80%と上昇しております。今後さらに内定率が増え、最終的には100%になるものと期待しております。特に、看護学部卒業生はほぼ全員の就職が決まっております。

さて、諸君は、キリスト教主義教育を貫くわが弘前学院大学および大学院研究科を卒業・修了しましたと思っております。

さて、弘前学院は創立一二五周年に入ります。歴史と伝統のある大学に在学したことに、堂々たるプライドを持って欲しいと思いたす。弘前学院創設以来の歴史や伝統は、見え隠れしながら皆さんの誇りや自信を形成してくれて

すし、理事長ならびに全教職員の強い思いを背景に地域から望まれた結果だと信じております。聖愛中学校は大学の看護学部と同様に、この3月に第2回生を送り出しました。キリスト教主義を背景とし

然とした上下関係が存在する中に入るのです。皆さんにとっては強烈な試練が待ち構えています。寝不足になったり、頭痛を訴えたり、たまにはお腹も痛くなるでしょう。どのような環境でも前向きに進むということ、この緊張を持つ姿勢が厳しい環境にも馴染むものです。社会に飛び立つと、周囲はストレスだらけ。正確に言いますと、ストレスとは私たちの体の中に生じる得体の知れないもので、ストレスを惹き起させるものをストレッサーと言っております。

ストレッサーが環境そのものなので、ここに輪ゴムがあるとします。図に示しているように、引っ張り過ぎの状態だとそのうちに劣化して切れてしましますが、適度に張られている、すなわちある程度緊張しているゴムは弾性としての機能が發揮されます。その状態では、少しくらい引っ張っても切れません。また、パンパンに張った風船を外から圧すると、すなわちストレッサーが加わると弾けてしまいます。あまり空気を入れている風船では、外からの圧力が

切っている疲れやすい余裕がなくなるでしょう。今の社会環境は厳しい。これに馴染もうとするには、他ならぬ輪ゴムを緩めに張る、あるいは風船に空気を入れすぎないことでしょうか。そこそこ緊張状態にしておくこそ、毎日の進歩があり精進できるというものです。また、さまざまな環境にいる人たちのコミュニケーションも大切です。仕事を上での多

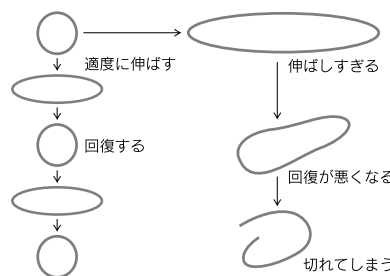


図 輪ゴムとストレス

横ばいは、避けて通れません。環境に馴染むことが求められています。環境に適応し・順応し・順化する。これは生命科学の分野の専門用語ですが、良い意味でその場に適應することが大切。なにが嫌、これが駄目などと言わず、どんなことにも挑戦する姿勢です。弘前学院大学で学んだ諸君には充分その姿勢が備わっています。



学位記授与式

本多庸一とキリスト教 番外編二

学校法人弘前学院 理事長 阿保 邦弘



本多庸一とともに津軽に入ったキリスト教は、社会改革において大きな働きをすることになった。特に、禁酒を主張してアメリカに起こった婦人運動である「キリスト教婦人矯風会」は宣教師によつて日本にもたらされ、明治十九年弘前教会にも結成された。その集会記録が「矯風会記録」である。

「矯風会記録」について 明治の貴婦人たち 元聖愛高校教諭 岩淵 玲子

この度は、弘前学院のご協賛を頂き、「矯風会記録」を上梓することができ、まことに有難うございました。

この本は弘前教会所蔵の「矯風会記録」(全三冊)を、元聖愛高校教諭、柏崎節子さんと私の二人で解説編集したのですが私どもの動機には学院にあった二つの出来事がかかわっております。

ン・マズイリー氏が夫君と共に聖愛を訪問されました。氏はかつて宣教師として本校に赴任した、オットーさんの孫娘にあたり、祖母の足跡を尋ねて遙々来られたのでした。

もう一つの出来事は、平成六年、閉園した聖愛幼稚園から「矯風会記録」が発見された事です。このニュースに私は驚き、また無念でもありました。百年史を編集した時どうして出てこなかったのか、是非一読したいと思っていました。

オットーさんを調べて行くうちに、柏崎さんがみつげ出した「矯風会記録」を、図らずも読ませて頂き、私は明治の女性を再認識し、特に文語体を使って会議の記録を残した書記能力の高さに関心を抱きました。私も在職中会議や講演の書記をさせられましたが、なかなかたいへんなものでした。

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思

う話し合いや、集いごとになる。簡潔に、あるいは詳細に、的確に書かれています。その知的教養からみて、矯風会のメンバーは当時の上流の人々であったでしょう。

明治にアメリカから宣教師とともに日本に渡ったキリスト教は、禁酒運動と抱き合わせで、日本ではこれに、娯娯(売春を禁ずること)をつけ加え、「矯風会」が発足します。

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思

この記録をみると、弘前教会婦人部の中に結成された「矯風会弘前支部」は、禁酒・廃娯のほか、災害救助・孤児・孤老への慈善などいろいろ活躍しております。それは、会員の寄付や、催し物による利益金など、なしには出来ない奉仕でした。私が貴婦人と思





# 卒業研究発表会を終えて

看護学部 看護学科 四年 豊嶋 純恵



昨年の十二月十九日(土)、看護学部棟に於いて2009年度卒業研究発表会が二つの教室で行われました。学生達が発表会の準備・進行を行い、10のセッションに分かれて54課題が発表されました。私は「H病院におけるチーム医療のあり方について」というテーマで研究発表を行いました。三年生の後期にテーマの提出期限があり、最初はテーマを決めるのにも迷いました。これまでの実習で最も印象に残ったことを思い出し、それをテーマに出来ないだろうか?と考えました。私の受け持った患者さんは退院後に施設に入ることが決まっています。退院後の不安を私にいつも話しておりまして。私は話を聞くことしか出来

なかつたのですが、その病棟の看護師さんやソーシャルワーカーの方々が、退院後に入る予定の施設について説明したり、患者さんが少しでも自立できるように理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の方々が毎日ハビリティを行ったりなど、様々な職種の人たちが関わり患者さんをサポートしていらっしゃいました。その結果、患者さんは笑顔で退院していったのです。このことから、円滑なチーム医療を行うには、職種間でどのような連携を行っているのか探求したいと思い、卒業研究のテーマにしました。

テーマ提出後、担当教員に指導していただき、研究計画書を作成しました。何度も書き直しをしました。卒業研究を進める中で、研究計画書の作成が一番大変でした。その後、自作のアンケートを作成しました。アンケートはH病院に勤務する看護師さん全員(約60人)を対象としたので、収集やデータ

の集計に時間がかかりました。しかし、臨床の生の声を聞くことが出来、アンケートの一つ一つが文献からは知ることの出来ないもので、とても参考になりました。

十二月に入って、論文と発表用のスライドの作成にかかりました。スライドは研究した内容をわかりやすく、的確に発表できるかを重点に考え作成しましたが、十分以内を終えることが難しく、何度も練習を重ねました。同じゼミの皆さんと協力してスライドを作成し、発表会では、自分が興味をもったテーマだったので、最後までやり遂げることが出来たのだと思います。指導してくださった先生方や、支えてくれた友達、協力してくださったH病院のスタッフの皆さんには本当に感謝しています。これから私は看護師として医療チームの一員となつて働きます。他職種の方と関わり、患者さんの笑顔のために看護していきたいです。

74名が修了し、それぞれの地域で活動しておられます。

本学は、地域とともに歩む大学として、当初からこの構想に積極的に参加し、企画委員・運営委員の派遣のほか、講師・場所を提供するなど、できる限りの貢献を惜みません。今日に至っています。

2008年度から、弘前市において第4期のうちの1コースである「人文科学コース」が開設されましたが、このたび2年間のカリキュラムが無事に終了いたしました。特に今回のこのコースにおいては、受講生の皆さんに実際に本学まで足を運んでいただき、学生さんとともに学んでいただく



この度、2009(平成22)年度の成績優秀者が決まり、三月二十日に表彰状の授与が卒業式後に行われました。

この賞は、学業成績・人物ともに優秀で、社会福祉士・精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対し贈られるものです。

受賞者は次の方々です

■日本社会福祉士養成校協会成績優秀表彰者 山内麻祐子

私の人生設計の中で、全く想定外だったのが、5年前の大学院への進学であった。大学を27年前に卒業し、その後は精神科病院をはじめ、精神障害者社会復帰施設のソーシャルワーカーとして従事しを覚えました。また、他学生の発表を聞き、質問を出し合う中で多くを学びました。四年生では、実習や就職活動、国家試験の勉強や卒業論文とやるのがたくさんあり投げだした時もありましたが自分が興味をもったテーマだったので、最後までやり遂げることが出来たのだと思います。指導してくださった先生方や、支えてくれた友達、協力してくださったH病院のスタッフの皆さんには本当に感謝しています。これから私は看護師として医療チームの一員となつて働きます。他職種の方と関わり、患者さんの笑顔のために看護していきたいです。

# 「ケースワーク原則」は、ソーシャルワーカーの羅針盤

社会福祉学部 准教授 葛西 久志



この度、2009(平成22)年度の成績優秀者が決まり、三月二十日に表彰状の授与が卒業式後に行われました。

この賞は、学業成績・人物ともに優秀で、社会福祉士・精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対し贈られるものです。

受賞者は次の方々です

■日本社会福祉士養成校協会成績優秀表彰者 山内麻祐子

# 成績優秀者表彰される

社会福祉士・精神保健福祉士養成校協会

この度、2009(平成22)年度の成績優秀者が決まり、三月二十日に表彰状の授与が卒業式後に行われました。

この賞は、学業成績・人物ともに優秀で、社会福祉士・精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対し贈られるものです。

受賞者は次の方々です

■日本社会福祉士養成校協会成績優秀表彰者 山内麻祐子



この度、2009(平成22)年度の成績優秀者が決まり、三月二十日に表彰状の授与が卒業式後に行われました。

この賞は、学業成績・人物ともに優秀で、社会福祉士・精神保健福祉士養成校の養成課程修了者に対し贈られるものです。

受賞者は次の方々です

■日本社会福祉士養成校協会成績優秀表彰者 山内麻祐子

# 古い書物たちとの語り

文学部 准教授 森田 猛

あつたし、素敵な出会いもあつた。古い書物は独特の字体や美しい装丁をもち、新刊本にはない魅力がある。刻印された蔵書印、書き込みやアンダーラインは、何人かの持ち主の間を渡り歩いてきたその本の「個人的な歴史」を物語るている。一冊一冊が実に個性的な存在なのである。わたしはスイスの文化史家ブルクハルトを中心にして、彼らの著作を進めていく。彼の著作だけでなく、

あつたし、素敵な出会いもあつた。古い書物は独特の字体や美しい装丁をもち、新刊本にはない魅力がある。刻印された蔵書印、書き込みやアンダーラインは、何人かの持ち主の間を渡り歩いてきたその本の「個人的な歴史」を物語るている。一冊一冊が実に個性的な存在なのである。わたしはスイスの文化史家ブルクハルトを中心にして、彼らの著作を進めていく。彼の著作だけでなく、



「あすなるマスターカレッジ」とは、青森県総合社会教育センターが主催する、社会教育の一環です。

# 「青森県あすなるマスターカレッジ」への協力

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい



その目的は、「平成20年度あすなるマスターカレッジ記録集」によれば、「高度な学習要求に応えるとともに、社会参加活動を促進するため、大学、博物館等と連携することにより、専門的・実践的な学習機会を提供し、地域において、主体的に活動できる人材を育成することをねらいとして平成16年度から実施」ということです。受講生の課程は2年間で、合計200時間の学習により修了証書の授与となります。既に第1期〜第3期におい

# 「初めての海外研修」

文学部 英語・英米文学科 四年 市村 未希

私は昨年8月に一カ月ほどアメリカ合衆国のシカゴ近くにあるネイパビルという町に海外研修に行ってきた。私は海外研修に行くことが初めてだったので、行く前までは初めての場所に行くことへの期待と不安でいっぱいでした。

海外研修には私たち日本人の他に、台湾人、カタール人の学生も参加していました。私たちは寮で一緒に過ごすことになり、一カ月のスケジュールもすでに組まれてありました。平日は決まった時間にそれぞれのクラスで授業を受け、授業の後や休日には寮の近くにある町中に買い物に行ったり、シカゴ観光をしたり、動物園に行ったり

分にコミュニケーションをとることができたり、絆を深めることもできた。私の中では、日本に帰る前夜にチューターの女の子とあったことがきっかけで喧嘩をしてしまったことがとても印象に残っています。その日のうちにちゃんと仲直りをしましたが、私たちは喧嘩できるくらい仲良くなっていったのだと思うとすごく良い思い出です。

私は弘前学院大学に入学しようと思った頃から絶対に一度でもいから海外研修に行きたいと思っていました。というのも、私が中学生の頃、海外研修に行くことが決まっていた手前でアメリカのテロ事件と重なってしまい、残念ながら行くことができなかったからです。また、私は決して英語が得意という訳ではないのですが、他の人たちとコミュニケーション

# 学内就職セミナー開催!

文学部・社会福祉学部対象

就職課長 福井 修

去る一月八日(金)、今年度の学内就職セミナーが本学体育館にて開催されました。

学内就職セミナーの開催も今年度で5回目となりすっかり定着した感があります。

セミナーを本学内で開催するにあたっては次のような意義があります。

1. 採用予定のある企業を本学に招くことで、直接、学生と面談してもらえる。
2. 面接や言葉遣いの練習にもなり、コミュニケーションの訓練にも役立つ。
3. 学生にとっては、一度に複数の企業の説明が直接に聞け、

また、業界研究、企業研究にも役立つ。  
4. 企業にとっても、本学の学生を知る良い機会となる。  
5. 加えて、これから始まる就職活動に対するモチベーションの高揚が図られる。

当日は青森県内を中心に38の企業・施設、55名の採用担当者の出席を頂きました。また、学生の参加は、既に就職活動に入っている3年生を中心に、これから就職活動するための準備となる2年生及び4年生(4年生参加可の企業もあり)の計107名と、多数の参加がありました。当日は冬季にしては温かく天候

をとることができたら楽しいだろうという思いと、英語を話すことができたならあらゆることに視野が広がるだろうという思いがあったので、海外研修に参加することを決めました。ですから、ぜひ皆さんも積極的に海外研修に参加して、皆さんの発見をしてほしいと思います。



# 弓道部

文学部 日本語・日本文学科 四年 中村 圭吾

弓道部は、現在三年生中心で部活をしています。主な活動場所は弘前市宮弓道場で、私たちは月、金の放課後にそこに行き、二時間練習をします。その他に個人の空き時間を使って、道場に行き、練習をしたりします。練習は各々の都合に任せていて、強制はしていません。

弘前市宮弓道場ではコーチが一人一人丁寧に指導してくれました。また、弘前市宮弓道場では弘前市弓道連盟の方々がいますので、一緒に活動させていただいています。ときどき、弘前市弓連の人たちから指導をいただいています。そのため、弘前市弓連の方々にはいろいろとお世話になっていま

す。この場を借りて、お世話になった方々にお礼を申し上げます。これが弘前学院大学弓道部の特徴です。一般の方々と雑談や弓道の話などをしてのんびりと活動しています。

この度、弓道部は第39回東北地区女子学生弓道大会IV部リーグにおいて、団体の優勝と個人3位を獲得することができました。この第39回東北地区女子学生弓道大会IV部リーグというのは東北学生弓道連盟主催の大会で、IV部リーグというのは女子の中で一番下のリーグです。この大会の主管は弘前市宮弓道場で試合をしました。その際、青森大学さんにも協力い



# 卒業生からのメッセージ

大学での経験は必ず活かされる

文学部 日本文学科卒 原 千昌

大学を卒業して早いもので6年が過ぎようとしています。卒業して一般企業を経て、現在社会教育主事として働いています。



社会教育主事の仕事は、とても地味ですが幅広くハードな仕事も数多くあります。一言で言うと学校外教育ですが、対象の年齢層が子どもからお年寄りまでと広く、どの世代の人でも気軽に学習できる場を作り、スポーツ・文化・文

# 弘前学院校友会より 母校援助金30万円の寄贈

本校卒業生が入学する弘前学院校友会(工藤幸会長)から、1月22日(金)母校援助金30万円が吉岡学長へ寄贈されました。

友会母校援助金は毎年寄贈され、昨年度は体育館ステージ引き幕、今年度はAED(自動体外式除細動器)の機械を



つ役立つかわかりません。在学している皆さんも同じです。どうか4年間しかない学生生活の中で色々な経験をして下さい。その経験は必ず社会に出たときに役に立ち、それまでの生き方を大きく変えてくれるものです。色々な経験をされた皆さんといつか一緒に仕事をできることを楽しみにしています。



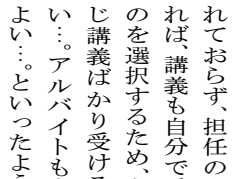
2009年度 理事長賞授与者

- 文学部 英語・英米文学科 長尾 友花 (五所川原第一高卒)
- 文学部 日本語・日本文学科 柴田 恵佳 (大畑高卒)
- 社会福祉学部・社会福祉学科 八戸 美晴 (青森東高卒)
- 看護学部・看護学科 鈴木千津子 (仙台白百合高卒)

学べる「と」のありがたさ



文学部 英語・英米文学科卒 長尾 友花  
 弘前学院 大学での4年間は、まさに私を成長させてくれた4年間でした。高校生活までは違い、親元を離れてのアパートでの一人暮らし。大学ではホームルームというものが特別設けられておらず、担任の先生もいなければ、講義も自分で受講したいものを選択するため、友人たちと同じ講義ばかり受けるとは限りません。アルバイトも自由によつてよい。といったように、何もかも



文学部 日本語・日本文学科卒 柴田 恵佳  
 大学四年間というのには意外にもあつという間、まだまだやり残したことがたくさんあるような気がします。入学当初、親も高校時代の友人も傍にいない環境で、人と話すことがあまり得意ではない私は何をすることも不安で仕方がありませんでした。それでも、趣味や目標が同じ友人が、講義や演習にも慣れた頃には毎日がつくようになってやっとな自信がつかうようになってやっとなこ

かけがえのない4年間



好きなことを存分にやってもいいのだと思えるようになりました。それから、友人と一緒に買い物や食事に出かけたり、時には気ままに一人で旅行をしてみたり、はじめてアルバイトに挑戦してみたりと、今までの私では考えられなかったくらい積極的になれたと思います。もちろん講義でも、自分の興味のある分野を専門的に学ぶことができるのでとても有意義な時間を過ごすことができ、教育実習では大変ながらもやりがいのある貴重な経験をする事ができました。

今まで支えてくださったすべての人とかけがえのない4年間には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。

もたたくさんの出会はは潜んでいました。入学当初は只々難しく堅苦しいと感じていた講義も、慣れてくると楽しく奥深いものであることがわかり、先生方が不意に発する名言に感銘を受けながら必死にノートをとる、有意義な毎日でした。先生方の助言を受けながら、自分だったらどう思うか、どう動くかなどを考えさせられるような講義は、私にとって特に魅力的で、二時間90分の講義を終えた後の自分はそれまでとは別の人間に生まれ変わったようでも、新たな自分に出会えたようなどとも清々しい気分になれたこともありました。

他にも、社会教育実習として公民館での事業に携わったり、教育実習生として母校の高校に迎え入れていただいたりと、本当に多くのことに挑戦し、たくさんの方々と触れ合い、必要ほど寒く、校舎の隅には

も充実して楽しかったと自信を持って言うことができます。それでもまだ挑戦し足りない、まだ学生のままでいたいと感じてしまうのは欲張りでしょうか。そう思えるほど、大学生活は難しい時間になっていました。知識や経験だけでなく様々な面において私がここまで成長でき、充実した4年間を過ごすことができたのは、大切な友人達や先生方をはじめとする皆さんの方々のおかげです。弘前学院大学の経験と思い出を糧に、これからは社会人として精一杯努力していきたいと思えます。

特に社会福祉実習や精神保健福祉援助実習では、様々な利用者さんや支援スタッフの方々と出会い、「自分はいったいどんな人間なのか」「どんな考え方を持

たにすることが、卒業を前にした今、まざまざと思い出されます。学生生活は、入学式の決意など吹き飛ばしてしまうほど、しっかり勉強させられました。テストやレポートの連続で、ヒーヒー言いながら日々をこなしました。しかし、どの勉強もより良い看護のためです。そのことを病気で苦しんでいる患者さんを目の前にしたとき、どれほど痛感したことかわかりません。

最も印象に残っているのは、病院や施設での実習です。特に最後の実習(看護総合臨床実習)では、自分のやりたい分野が選べます。どんな患者さんを受け持たいのか、どんな看護をしたのか、明確な目的・目標を決め、十分な準備を行って実習を行います。私はがん看護(緩和ケア)を選びました。患者さんの目の前にして、自分の知識不足、技術の未熟さ、意識の不十分さを

を過ごすことができました。特に実習中や受験勉強中、不安や焦りで気が折れそうになったときには、友人も私と同じ大変な状況にも関わらず、相談のつてくれたり、励ましてくれたりと、仲間がいることの心強さと優しさを実感することができました。時には競い合い、励ました。時には笑いあつた仲間ができた、この弘前学院の仲間が、とても不安でした。さらに私は、学部を卒業してから数年、教育現場で働いておりまして、数年間のプランクがあつたので、数年間のプランクがあつたので、数年前の大学院入学してからの大学院入学してからの学生生活は上手にやっていたのだからか。など、とにかく不安ばかりでした。

しかし、実際に入学してみると本大学院は、様々な職業の方や、年齢も様々な方々と一緒に学べ

祝卒業

卒業にあたり



社会福祉学部 八戸 美晴  
 私たちが弘前学院大に入学してから、早いもので4年の月日が経とうとしています。この4年間の大学生活を振り返ると、私はたくさんのものを得ました。それは福祉的な知識、価値観、援助技術などだけではなく、多くの人と接し、多くのことを感じ、人間性を高めることができました。

謝の気持ちでいっぱいです。大学生活では、今がチャンスだと感じた時には自分からチャレンジする精神を得ることができました。また、前向きな姿勢で学ぶことは楽しく、それはきっと自分の為になる「何か」を獲得できるといふことも実感させられました。学べることを当たり前と思わず、学べる環境を与えられることにいつも感謝しながら、今後の人生においても日々勉強し、自分らしさを確立させていきたいと思えます。

痛感しました。そんなとき教員や指導看護師は厳しい(それは同時に優しさでもある)指導で支えてくれました。患者さんとの心のふれあいでは、看護師としての喜びも味わうことができました。また、同級生とは、愚痴を言いあい、励ましあい、涙しい、笑いあい、飲んだくれて、一歩一歩、前に進んできました。だからこそ今の自分があると思えます。

私はいま、弘前学院大学で学ぶことができていることに感謝し、新たな興味や可能性を見つづけることができました。それから、仲間が遅れをとらないようにと、必死に学び、充実した2年間を過ごすことができましたと思っています。

そして、恵まれていたことは一緒に学んだ仲間は勿論ですが、私を指導してくださった先生方、様々な面でサポートしてくださった事務部の皆様、2年間私を見守ってくれた家族、たくさんの人達に支えられて、たくさんの力が私を励ましてくれました。このように、たくさんの力が私を励ましてくれたことで、私は不安に思っていた「研究」や「修士論文」を書きあげることが出来たと思っています。

卒業にあたって



看護学部 看護学科卒 鈴木千津子  
 4年前の入学式の日、四月というのにオーバーが必要なほど寒く、校舎の隅には

たにすることが、卒業を前にした今、まざまざと思い出されます。学生生活は、入学式の決意など吹き飛ばしてしまうほど、しっかり勉強させられました。テストやレポートの連続で、ヒーヒー言いながら日々をこなしました。しかし、どの勉強もより良い看護のためです。そのことを病気で苦しんでいる患者さんを目の前にしたとき、どれほど痛感したことかわかりません。

最も印象に残っているのは、病院や施設での実習です。特に最後の実習(看護総合臨床実習)では、自分のやりたい分野が選べます。どんな患者さんを受け持たいのか、どんな看護をしたのか、明確な目的・目標を決め、十分な準備を行って実習を行います。私はがん看護(緩和ケア)を選びました。患者さんの目の前にして、自分の知識不足、技術の未熟さ、意識の不十分さを

を過ごすことができました。特に実習中や受験勉強中、不安や焦りで気が折れそうになったときには、友人も私と同じ大変な状況にも関わらず、相談のつてくれたり、励ましてくれたりと、仲間がいることの心強さと優しさを実感することができました。時には競い合い、励ました。時には笑いあつた仲間ができた、この弘前学院の仲間が、とても不安でした。さらに私は、学部を卒業してから数年、教育現場で働いておりまして、数年間のプランクがあつたので、数年前の大学院入学してからの大学院入学してからの学生生活は上手にやっていたのだからか。など、とにかく不安ばかりでした。

しかし、実際に入学してみると本大学院は、様々な職業の方や、年齢も様々な方々と一緒に学べ

弘前学院の思い出



大学院 社会福祉学研究所修了 西川 直子  
 弘前学院の大学院だったので、わたしの不安は嘘のように消え、次第にこんなに素晴らしい仲間と一緒に学んでいくことができる私は、恵まれていることを実感し、新たな興味や可能性を見つづけることができました。それから、仲間が遅れをとらないようにと、必死に学び、充実した2年間を過ごすことができましたと思っています。

そして、恵まれていたことは一緒に学んだ仲間は勿論ですが、私を指導してくださった先生方、様々な面でサポートしてくださった事務部の皆様、2年間私を見守ってくれた家族、たくさんの人達に支えられて、たくさんの力が私を励ましてくれました。このように、たくさんの力が私を励ましてくれたことで、私は不安に思っていた「研究」や「修士論文」を書きあげることが出来たと思っています。